

磐田NPO交流センター通信

サポーター「まちづくり」を考える

一月二十五日(日)に「まちづくり座談会」が、磐田NPO交流センターで開催された。今回の参加者は、図らずも全員がまちづくりサポーターとなった。司会者からまちづくりサポーターの活動を通じて、これからの磐南地域のまちづくりを考えるための意見交換の場であるとの主旨説明がなされた後、座談会がスタート。

自己紹介では出席者から多彩な活動経歴も披露され、熱気溢れる座談会となった。

わたしたちの活動から

Y・O・O 自分にプラスになると思っただらそこに行くことにしている。「ふれあい」「思いやり」を図る活動をして参加者の年齢層の幅を広げたい。

M・O 福田町では中学、高校生の体験活動を生かし世代交流を図っている。しかし、やや行政主導の感がある。住民から盛り上げていこうという意識は大切。

Y・S まちづくりサポーター制度も発足して三年になるが、受身であって参加するチャンスも少ない。サポーターが企画して主体性を持って動くの良いのでは。

H・T 活動は積極的に行いたいですが、自分ひとりでは思うようにいかない。今のうちから他町へ働きかけて、まちづくりをしていきたい。



U・I サッカーの知名度は全国区だが、それ以外では磐田を紹介する決定的なものがない。遠州大名行列・舞車・裸まつり・府八幡宮祭典なども、磐田市のまちづくりとして考えている。

として、発信していきたいとも考えている。

T・U まちづくりには、すぐ実現できるものもあれば、考え

なければ出来ないものもある。自分の活動として、手品とか折り紙遊びという日本の文化をわづかながらオーストラリアに紹介した。障害者の生涯学習にも参加した。お金をかけないシステム作りを考えたい。対策案やヒントを作るためのまちサポとして、育っていくのもいい。

駅前商店街への意見から市町村合併へ

Y・a・O 昭和の合併で磐田市が誕生したとき、各地の代表が集まり婦人会もバックアップしてまちが発展した。今回の市町村合併もまちサポが火種となればいい。ジュビロのファンもまちづくり・まちサポに参加して、駅前の活性化などに一役担ってほしい。

M・K 駅を降りて、いい街という印象は商店街を見て思う。商店街のことは市民も消費者も真剣に心配している。

Y・S 商店街について、消費者の立場で座談会を開いたらどうか。手法はいろいろあると思う。商店主の考えも聴く市民としてのサポーターであり、又意見も述べたい。

K・T 商店街について言うならば、ひとつの特色ある商品、駐車場、宅配の提案もある。地

元に大学があるのだから、学生に加わってもらって意見を聞くのもよいのではなからうか。

M・O これからも、いろいろと自分のできることをやっていきたい。

K・M 市民が行政に依存している部分もまだまだ多く、行政も多くの課題を抱えている。いまは市町村合併が大きな問題。

M・O 合併は市民レベルで作り上げたいと考えている。

Y・S 合併問題では磐田にないものが周辺の町にはある。たとえば豊岡村の工場誘致。あたる会社は工場というより公園の感じ。楽器もあれば光技術の会社もある。まちづくりの再認識として、工場見学もいい。

K・T まちサポは組織と組織のコーディネート役もいと思う。

まちづくりの提案コーナーを創って発表していく方法もいい。

司会 合併協議が進められていますが、今我々が住んでいる、各々のまちのいいところを認め合っていない気がします。企業や大学を巻き込んだまちづくりのアクションもこれからで、まだまだできる部分がたくさんありそうです。みなさんの意見をこれからのまちづくりにいかせたいと思います。



大垣NPOセンターを視察して



大垣市：まちづくりプラザ

で、月曜日休み。登録団体は二十八(十二月末)。午前担当

平成十五年十一月二十八日、磐田市自治会連合会の研修として大垣市まちづくり市民活動支援センターの視察に同行しました。大垣市は県第二位の都市であり、一市九町の合併を目指す中心となり、少なからず岐阜県のリーダーとしての自負が見えました。市民活動支援条例が定められ、活動費助成のシステムもあります。このセンターは、平成十三年七月に中心市街地活性化の議論の中で提案され、様々なNPO活動の拠点として開設したもので、NPO法人大垣まちづくり市民活動支援会議が管理運営しています。開館は午前十時〜午後十時まで

の職員と午後担当の事務局長曾根君(二六歳独身)の常時一人体制です。岐阜経済大学などとのパートナーシップがなされ、合併協議会からの委託により百人もの参加者でワークショップを開催し提言書の作成、商店街のイルミネーション事業など多くの委託を成し遂げ、産学協働の姿を垣間見ることができました。これから若い事務局長を中心に熱い活躍を期待します。

子育て支援 NPO法人「あつとわん」を訪ねて

平成十五年十二月三日、いわた女性の会メンバーで春日井市にあるNPO法人あつとわんを訪ねました。あつとわんは平成四年十二月、子育て中の母親が元気になる情報を提供しようとミニコミ誌の発行からスタート。十三年九月、相談所「ウェルカム横丁」を開設し、翌年NPO法人化しました。活動拠点は、市東部高蔵寺ニュータウンショッピングセンター内です。元氣

はつらつの三十代のお母さん二人(河野さん・次郎丸さん)が代表理事となって運営しています。子育て中の全ての親を支援し、障害児とその家族がよりよい環境で子育て・生活できるように支援する事業により、地域福祉の増進を図り共に暮らせるまちづくりを推進する事を目的としています。保育士を始め、相談事業を通して様々な分野の専門職の方々(百三十名余)にも協力を得ている点が特徴的でした。得意分野を生かしたつながりは、人づくりをすること協力体制をつくることを考えながらの活動を広げ、気がついたらまちづくりや子育て支援となっていたそうです。また、企業とパートナーシップを組むことによりベンチャー的発想もできました。事業内容は起業支援ネット、地域交流会、



説明を聴く参加者

こぶたんキッズ親子教室、あつとわん交流会、不登校の子供相談など多彩に行っています。地域のあつとわんとしてさらなる飛躍を!!

静岡県NPOセンター会議 in 三島 静岡県内のNPOセンター集結

平成十五年十二月三日、三島市NPO・ボランティア情報センターにおいて、県内九ヶ所のNPO支援センターから事務局・担当行政職員が一同に会するNPOセンター会議が開催されました。

これから開設を予定している伊東市、御殿場市、富士市、富士宮市からも出席しました。これまでの活動や民営化のメリットや課題などが報告され、今後半年に一度会合を持つことが決議されました。



三島市の中心街にあるセンター

公設公営つまり県や市町村が場所を提供し行政職員が常駐する形では、多くの経費を要していることになります。また、磐田のように民間人であるNPOが、多彩な事業を展開しているところはあまりないようでした。公営から民営へという流れの中で県内では魁きまがけとなつているのだと驚きの反面、さらなる活動の活性化へこれからは議論を重ねていかなければならないと感じています。

県内NPOセンター

公設民営

- 磐田NPO交流センター
- 藤枝市民活動支援センター
- 浜松まちづくりセンター
- ふじのくにNPO活動センター
- 「パレット」(静岡市)
- 島田楽習センター

公設公営

- 東部地域交流プラザ
- 「パレット」(沼津市)
- 本年秋に民営予定
- 西部地域交流プラザ
- 「パレット」(浜松市)
- 清水NPO・ボランティア
- 市民センター(静岡市清水)
- 三島市NPO・ボランティア情報センター



ジャボラ NPO日本語教育ボランティア協会 磐田支部(本部浜松)

代表 赤堀 仁美

事務局 杉田玲子

磐田市向笠西六二一

TEL (三八) 五五八〇

設立 平成十五年六月

構成 四名

活動目的・内容

磐田市やその近隣には多くの外国人が暮らしています。しかし日本人と外国人の間にはまだまだ十分な交流や相互理解が得られていません。私たちジャボラNPOでは、外国人の皆さんへの日本語教育ボランティアを通して、日本人と外国人の共生社会実現に向けて日々活動しています。

参加・協力方法

私たちと一緒に外国人市民に日本語を教えてみませんか。毎週一回、南御厨公民館で行っています。外国語が話せなくてもできます。(教え方講座参加後) よりよい共生社会を目指し、共に活動できる方の参加をお待ちしています。また教える時間はないけれど、準会員に登録して私たちの活動を支えて下さる個人や法人会員も募集中です。会費等 教え方講座の参加は有料になります。

十一月には地区文化祭での活動発表を行っています。

参加・協力方法

親子で現地を訪れ、自然に触れ心を癒し、子どもとの絆を深め、共に楽しみ、自然を愛する心を育んで下さい。催し物はその都度決めていくため、会報でお知らせしていきます。

ひょうたん池自然を考えよう会

代表 松下 忠夫

事務局 磐田市西貝公民館

TEL (三二) 四八五三

設立 平成七年一月

構成 百三十一名(男子百十七名 女子十四名)

活動目的・内容

湧き水を活かした「自然と戯れ、いつでも心の安らぎを与えてくれる市民の憩いの場所」を目的とする。毎年六回以上午前中の作業を行っている。また毎年八月にはひょうたん祭り、

磐田絵画クラブ

代表 鈴木 千佳子

事務局 豊田町上方能四二〇

TEL (三四) 〇五二七

設立 昭和四十三年頃、

求 正美先生を中心に東海美術会として活動を始めた。

構成 十五名

(男子八名 女子七名)

活動目的・内容

磐田市立総合病院内に絵画作品を展示し、入院患者の皆さんや病院を訪れる人たちに鑑賞していただいています。少しでも気持ちの安らげる空間を演出できれぱと、年二回掛け替えをしています。数年に一回グループ展も行っています。

会費 年間一〇〇〇円

子どもを守る会

代表 平出 敏巳子

事務局 磐田市見付

TEL (三二) 一三二九

設立 平成十三年九月

構成 十五名

活動目的・内容

子どもを犯罪の被害者に



も加害者にも傍観者にもしたくない!という母親の想いから発足した会。CAP(子どもへの暴力防止教育プログラム)のワークショップを子どもたちが受けられるようにするための活動がスタートでした。現在はCAPに限らず子どもに関することの情報交換、意見交換の場を提供したいと思っています。いま力を入れているのが性教育です。月一回の勉強会と関係する書籍の貸し出しを行っています。

参加・協力方法

現代の井戸端会議です。どなたでも参加できます。子どもに関することで気になることがあったら、気軽にご連絡ください。持っている情報は提供できます。会費等 ありません。



NPO法人
クリエイティブ2001

(福田町)

福田町で初のNPO法人が、一九九六年四月設立の「クリエイティブ2001」です。中学生、高校生を軸に様々な体験活動を行い、目標を「思いやる心の醸成と豊かな人間関係」サブテーマに「夢・勇気・挑戦・優しさ」「作る・創る・工夫する・交わる」としています。

中学生グループの「ジュニアボランティアネットワーク」高校生グループの「Cバザー21実行委員会」、それらの活動を支援する社会人や大学生による「サポートの会」の三つの組織が目標実現のために主体性を持ちながら連携し合い活動しています。

中学生は「地域再発見」をテーマに、住んでいる町の良さをビデオに残すことや春秋の花壇づくり、お月見お茶会、郷土料理交流会（高校生と合同）、高校生のバザーの手伝い等積極的に取り組んでいます。

高校生は活動の延長として国際支援や国際交流も視野に入れた活動をしています。主体活動のバザーは、これまで交流をもった沖縄・韓国・ベトナム出身の方の協力を得て料理教室や模擬店を開き、バザーの収益金でベトナムに現在二校目の小学校の建設を進めています。

平成十五年度は、この他に広島市への研修を行い「命」について、そして自分たちの「今」を見つめ直すこともしました。

あくまでも活動は「健全育成」であり、「人とのかわり」です。これからも根気よく進めていきたいと考えています。

理事長 寺田 一秀
事務局 寺田 辰蔵
福田町福田五一九―二

大人気のバザー

FORMATION

「浜名湖花博」

ふれあいの庭ワークショップ

主催 パシフィックフローラ

「チーム2004」

日時 四月八日(木)～十月十一日(月)

開催場所 浜名湖花博ふれあいの庭

内容 草花、ハーブ、野菜、花木、子どもの花あそびなどワークショップ(体験教室)を土、日、祝日を中心に開催

問合せ先 (三五) 九八八一 鮫島

中途失聴・難聴者の「元氣の出る集い」

主催 静岡県中途失聴・難聴者協会

日時 四月十一日(日)十三時～十六時

開催場所 ワークピア磐田

内容 静岡県立大学教授高木桂蔵氏講演。体験発表。レクリエーション(バルンアート)「聞こえなくても大丈夫!仲間と出会えばみんな元氣!」をテーマに難聴者の理解と社会参加を願う開催します。

問合せ先 要約筆記サークルおたまじゃくし(三五)九〇〇九 正木

遠江国分寺史跡公園除草作業

日時 四月二十九日(木)九時～十一時

開催場所 遠江国分寺史跡公園

内容 除草作業 用具持参

遠江国分寺僧尼寺跡発掘調査の現地見学会

日時 六月十一日(土)十四時～十六時

講師 市教育委員会文化財課職員

集合場所 南大門跡付近

主催 遠江国分寺を考える会

問合せ先 (三六)〇八二八 佐藤

救急法実技講習会

日時 四月二十四日(土)、二十五日(日)

開催場所 磐田消防署

内容 心肺蘇生法、搬送法、三角巾の使い方等の講習

市子連球技大会

日時 八月一日(日)

開催場所 南部中学

内容 ソフトボール、ドッジボールの大会

浜松合唱団混声コーラスチャリティコンサート

主催 磐田ユネスコ協会

日時 五月九日(日)十五時～十六時半

開催場所 ワークピア磐田

内容 四十人混声合唱団によるお楽しみステージ、混声合唱曲集「旅のかなたに」他

主催 磐田市子ども会世話人連合会
問合せ先 事務局(磐田市生涯学習課) (三五) 四三二五 田村

ベッコウトンポ定量調査

主催 NPO法人桶ヶ谷沼を考える会

日時 四月二十九日(木)、五月二日(月)

開催場所 桶ヶ谷沼(ビクターセクターに集合)

内容 ベッコウトンポの成虫をカウント。第一回十時から、第二回十一時から。

問合せ先 トンボハウス

(三七) 三八八八 鈴木

遠江国分寺史跡公園除草作業

日時 四月二十九日(木)九時～十一時

開催場所 遠江国分寺史跡公園

内容 除草作業 用具持参

遠江国分寺僧尼寺跡発掘調査の現地見学会

日時 六月十一日(土)十四時～十六時

講師 市教育委員会文化財課職員

集合場所 南大門跡付近

主催 遠江国分寺を考える会

問合せ先 (三六)〇八二八 佐藤

救急法実技講習会

日時 四月二十四日(土)、二十五日(日)

開催場所 磐田消防署

内容 心肺蘇生法、搬送法、三角巾の使い方等の講習

市子連球技大会

日時 八月一日(日)

開催場所 南部中学

内容 ソフトボール、ドッジボールの大会

浜松合唱団混声コーラスチャリティコンサート

主催 磐田ユネスコ協会

日時 五月九日(日)十五時～十六時半

開催場所 ワークピア磐田

内容 四十人混声合唱団によるお楽しみステージ、混声合唱曲集「旅のかなたに」他

参加費 千円(チケット)

問合せ先 事務局(磐田市生涯学習課) (三五) 四三二五 田村

編集後記

昨年磐田で行われた静岡県ボランティア研究会は、今年沼津に場所を変え、約五百名の参加で二月十四日に開催されました。

テーマソングも作成され、「沼津発 今、わたしにできることぐみんなの輪!和!〇!」のスローガンのもと心温まる集会となりました。

昨年同様、老若男女、笑顔での閉幕は、NPOという名称よりも前から活動する誠実な人々の存在を感じずにはいられません。

まちサポ座談会では、熱い議論が交わされました。磐田からも今、わたしにできることを考え、誠実に実行したいと思いたい(村上)

編集/磐田NPO活動推進協議会

〒四三八〇〇七 磐田市中央町二二―四

TEL (〇五三八) 三六一―八九〇

E-mail: iwata-npo@za.tnc.ne.jp

発行/磐田市総務部地域振興課

〒四三八八六五〇 磐田市国府台三二―一

TEL (〇五三八) 三七―四八二

編集/磐田NPO活動推進協議会

〒四三八〇〇七 磐田市中央町二二―四

TEL (〇五三八) 三六一―八九〇

E-mail: iwata-npo@za.tnc.ne.jp

発行/磐田市総務部地域振興課

〒四三八八六五〇 磐田市国府台三二―一

TEL (〇五三八) 三七―四八二

編集/磐田NPO活動推進協議会

〒四三八〇〇七 磐田市中央町二二―四

TEL (〇五三八) 三六一―八九〇

E-mail: iwata-npo@za.tnc.ne.jp

発行/磐田市総務部地域振興課

〒四三八八六五〇 磐田市国府台三二―一

TEL (〇五三八) 三七―四八二

編集/磐田NPO活動推進協議会

〒四三八〇〇七 磐田市中央町二二―四

TEL (〇五三八) 三六一―八九〇

E-mail: iwata-npo@za.tnc.ne.jp

発行/磐田市総務部地域振興課

〒四三八八六五〇 磐田市国府台三二―一

TEL (〇五三八) 三七―四八二

編集/磐田NPO活動推進協議会

〒四三八〇〇七 磐田市中央町二二―四



磐田NPO交流センターホームページ <http://www3.tokai.or.jp/iwata-npo/>